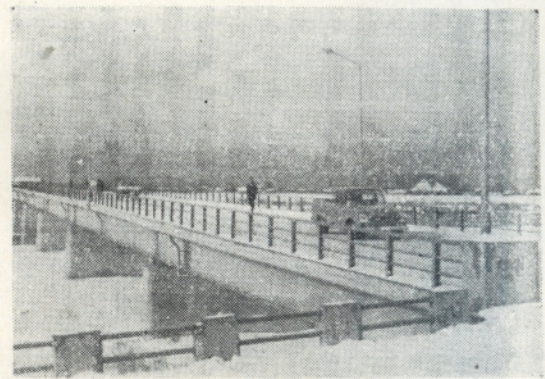


(青森県) 五所川原市広報

# 市政ニュース

第104号 一部2円

発行所 五所川原市役所 印刷所 青森民友新聞社



## 新雪の乾橋

渡し川の昔から西と北の人々は岩木の流れを渡つて交わつた。やがて橋がかげられた。西と北の間というところで「乾」と名づけられた。永いあいだ親しまれた木の橋は多くの功績を残してその生涯を閉じた。老いたからだでは現代の交通文化を背負いきれなかつたのだから。あたらしい橋が生まれた。鉄骨で組みれりらしい美少年のような橋である。きやしやな体に似合わず頑丈な脚が川面にしっかりとふんまいている。人々の期待をにない今日も新雪のなかに若い「乾」の橋がある。

## 明日をになう

### 成人のつどい

とし市内で八〇〇人が、新しくおとなの仲間入りします。この新しくおとなの仲間となった門出を祝う成人式は「成人の日」の十五日、県立五所川原農林高等学校体育館でおこなわれました。成人式は次代をになう若人四〇三人参加、教育関係者、行政関係者など多数出席し館内一杯にこだまする君が代の斉唱、越後中央公民館長の式辞についで、市長自筆による「有青雲則有青山」としるされた手拭の記念品を成人代表に贈呈、市長が二人まえのおとなとして、五所川原市を背負つて立つ責任と自覚を持つ立派な人間となつてくださる。」との祝辞があり成人の代表として平山俊治くん(栄)、長内正子さん(長橋)が「きょうから新しく大人の仲間入りしますが、大人として恥じないよう自分の行動に責任をもつてがんばります。」と力強い答辞がありました。

また、成人式を記念して青森地方裁判所五所川原支部判事水野正男氏の「青春を大切に」と題しての講演があり、木村山教育長の言葉により元気に万才三福があり終了しました。式にあと五中プラスバンド演奏に魅了され、なごやかなうちに、立派な一人前に独立された責任者として、おとなの社会に第一歩をふみだした。

写真説明上…市長自筆による記念品 下…成人式風景

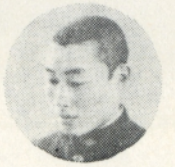


## 成人を迎えて

私もいつのまにか成人を迎えることになりました。今日からおとなの仲間入りできるわけですが、希望と喜びでいっぱいですが、未熟なものです。今までの教つたことをしっかりと胸に刻み、常識のある社会人として再出発を決意するとともに、若さどふアイトを燃し、先輩たちのご指導により明るい社会建設のために前進してゆく覚悟です。つい最近まで父母に「あまえ、わがままいっばい」に学校へ通つていたころのあつがまだ消えさらないうちに、もう成人の日を迎えました。過去、千年間という年月をふり返つてみますと、私たちはただ先生の教えと両親の慈愛だけで生きてきたようなものです。よく学校時代に「社会に出て荒波にもまれても決してくじけることなく、最後までやりぬけ」

長内 正子さん

と。そのころの私は大人の世界とはどんなのか社会の荒波とはどんなのか全然見当がつかず、去年の春、不安とよこごびが入りまじつた中を社会に第一歩をふみ入りました。社会に出てまず最初に感ぜられたことは、仕事になること、職場の雰囲気になれるまでのつらさと対人関係のむずかしさです。今まではこのような、困難が生ずるとすぐ両親とか、友人などにたより勝ちでした今日を機会としてこうした子供っぽい考えから少しづつで脱皮して自分の行動に責任をもち解決して行きたいと思ひます。そして独立した社会の一員として与えられた権利と、義務とある程度の自由をだれからも支配されずとなく自分の意志で判断し、近代社会造り人造りのために進んで行きたいと思ひます。



平山 俊治 くん

経営の合理化は

青色申告で

青色申告制度は昭和二十五年に設けられましたが、現在では営業所得者の約半数のかたがたが青色申告をおこない、数多くの特典を利用して税負担を少くし、明るく経営と事業の発展をはかっております。

このたび、全国的に青色申告者の増加運動を進めております。当市でも青色申告会、商工会議所、税理士会などの協力を得ており、

税務署でも青色申告指導担当者をもうけて、青色申告のおすすぬや記帳の指導にあたっております。また、青色申告会、商工会議所でも青色申告指導員（経営指導員）をおき、ご希望により青色申告の手続き記帳の仕方を納得のゆくまで指導しております、人手不足

などのため記帳がむずかしいと考へられたには、やすい費用で記帳してくれまうので、遠慮なく利用してください。

このしから青色申告をするときは三月十五日までに「所得税の青色申告承認申請書」を税務署におだしくたさい。このほか青色申告会、商工会議所でも申請書の記載をしてくれます。

水道の共用は

申告してください

水道力使用者で最近、間借人をおいても無申告で水道を共用している人がメッキリ多くなつており



(1)

市民課

市税所正面を入り右側のすくそばがみなさんの日常、関係深い市民課です。

◆戸籍係  
あなたが結婚すれば婚姻届を、赤ちゃんが生まれれば出生届をたします。また不幸にしてごなくなつたら、死に届をたします。埋火葬の許可を必要とします。さら、火葬するための手続きをします。

◆住民登録係  
それがこの係です。このほか、戸籍の謄抄本などの証明、市の人口の動きなど、戸籍のあらゆる仕事をしております。

あなたほどかに住所を定めなければなりません。そして住民登録をします。また印鑑届も必要に応じておこないます。お米を買つ通帳も買わなければなりません。外国人の方も登録をします。それがこの係です。

◆民生係  
毎年、市では公営住宅を建設しております。あなたが公営住宅に入りたときは申し込みます。水害、火災などの災害が発生した、救助が必要です。

◆民生係  
また戦傷病者、戦没者遺家族、海外引揚、旧軍人、軍属の方で御用がありましたら、それはこの係です。

◆なお本庁でおこなつている戸籍、住民登録は五所川原、小曲、柴、松島の地域で、そのほかは最寄の支所で取り扱つております。

お年玉つき年賀はがき  
当選番号（各組共通）

特等	(プリンセスマツトレス)	107・825
1等	(トランジスタラジオ)	247・329 353・851
2等	(クッキングセット)	782・065 711・229 287・661
3等	(電気スタンド)	下5ケタ 11・979
4等	(封筒セット)	下3ケタ 454 749
5等	(切手シート)	下2ケタ 07 29 43

農業基本調査に  
ご協力ください

毎年一月一日現在でおこなわれる農業基本調査は、耕地面積一歩以上を経営している農家を調査するものです。

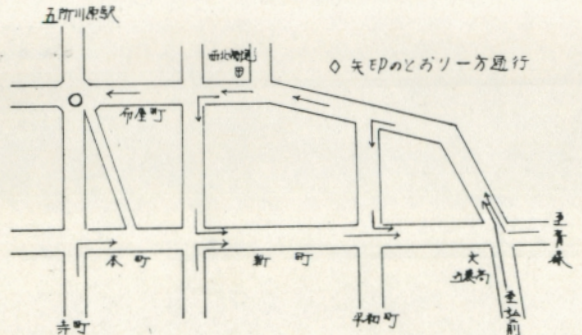
この調査は、本県農業経営の実態を統計的にあきらかにし、実情にあつた農村のための行政を進めて行くに必要な資料を作るためのものす。

調査は面接によりおこないますので、調査員がお伺いしましたら調査の趣旨をご理解くださいまして調査にご協力願います。

雪きりは非常口も忘れずに

大型自動車の交通規制

- 実施期間 2月1日～3月31日
- 対象車両 大型トラック (5トン積以上)
- 大型バス (30人乗り以上)



●交通規制は自主的ですのでご協力願います